



TOHOKU
UNIVERSITY



東北大学

Tohoku University

文部科学省 博士課程教育リーディングプログラム 複合領域型 (安全安心)
Program for Leading Graduate Schools, MEXT
Multidisciplinary Field of Safety and Security

グローバル安全学トップリーダー育成プログラム

Inter-Graduate School Doctoral Degree Program on

Science for Global Safety

募集要項

Application Guideline

平成25年度

Academic Year 2013

東北大学リーディングプログラム推進機構
グローバル安全学教育研究センター
宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6

Organization for Promotion of Leading Graduate School Programs
Center for Education and Research on Science for Global Safety
Tohoku University
6-6, Aramaki Aza Aoba Aoba-ku, Sendai, Miyagi

グローバル安全学トップリーダー育成プログラムについて (アドミッション・ポリシー)

東北地域に甚大な被害を与えた東日本大震災から一年以上が経過するが、被災地域の社会基盤や産業基盤の本格回復には至っていない。さらには原子力発電所の再稼働を含めたエネルギー政策の大転換を議論せざるを得ない状況となっている。現在の状況は、我国の将来を決める決定的ターニングポイントに差し掛かっているといても過言ではない。本学は、被災地に位置する大学として、東北復興を先導する大きな責任を負っていると共に、強い社会的要請である安全安心な社会の実現に向けて強い使命感を持っており、安全安心な社会構築に貢献できるリーダー養成を本学の使命と認識している。

東日本大震災の教訓として、科学技術のみによる防災の限界と社会科学的視点からの減災の重要性が明らかとなった。このことから、大震災からの復興や今後発生が予測される多様なリスクからの被害を抑制するには、科学技術の活用と、それを人間起点で社会システムに取り入れるための人文社会科学分野の貢献が重要である。

本プログラムの人材養成目的は、我国や世界が直面する、巨大地震や津波などの自然災害あるいは気候変動、エネルギーセキュリティなどの多様なリスクの発生メカニズムを理解し、複数の Science discipline を合目的に統合して、防災および減災などのための工学的・社会科学的システム設計ができるグローバル安全学分野のトップリーダー人材を育成することである。この目的のために、科学・技術・人文社会科学の研究者が連携したプログラムにより、「安全安心を知る」、「安全安心を創る」、「安全安心に生きる」という3つの視点からリーダーを養成する。

本プログラムでは、地球惑星科学・環境科学をはじめとする自然科学、土木工学・都市・建築学・機械工学などをはじめとする工学、哲学・心理学・倫理・公共政策分野を中心とした3つの学術コアとその複合領域において、安全安心な社会構築の視点で東北復興の先導に貢献できる人材の育成や、人類社会の持続性に寄与すると共に、産業・社会システムの構築による安全安心な社会の構築に寄与できる人材育成を行う。

本プログラムでは、安全安心を「知る」「創る」「生きる」三つのユニットに対応して、次の3つのコースを設ける。

- 自然災害科学コース
- 安全・安心工学コース
- ヒューマンサイエンスコース

これらのコースにおいて、以下の能力をもつ人材（金平糖型人材）の育成を目指す。

- ・先鋭化された研究を通じた専門能力の核（コア）を有すると共に、多様な課題解決のための应用能力（シェル）を有する人材
- ・課題設定と問題解決、研究開発、事業展開、グラウンド

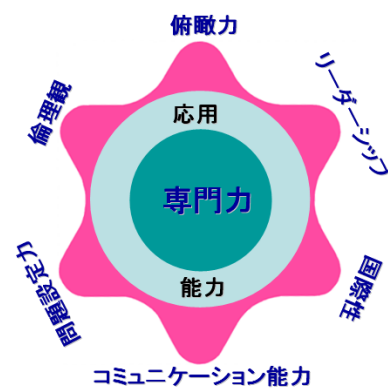


図1 金平糖型人材

デザインなどの筋道を自ら設定して実践する能力を有する人材

- ・ 事象を俯瞰して整理し、自身の考えを的確に相手に伝える能力を有する人材
- ・ 国際舞台でリーダーシップを発揮できる資質を有する人材
- ・ リーダーとしての倫理観と責任感を有する人材

上記の能力を持つリーダー人材において期待されるキャリアは以下のものを想定している。

- **「国際的企業リーダー」**：国際的視野を持ち自然災害や経済リスクなど多様なリスクに対して的確な評価と対策を行うことができ事業継続マネジメントが可能なリーダー
- **「アカデミックリーダー」**：コアディシプリンにおける国際レベルの研究者であると共に、広い視点から学問を教授できるリーダー
- **「国・地域防災リーダー」**：行政機関・研究所や防災センターなどにおいて国家や地域の防災政策をリードするリーダー
- **「国際的リスク管理リーダー」**：国際機関などで世界的視点から多様なリスクに対する危機管理が可能なリーダー

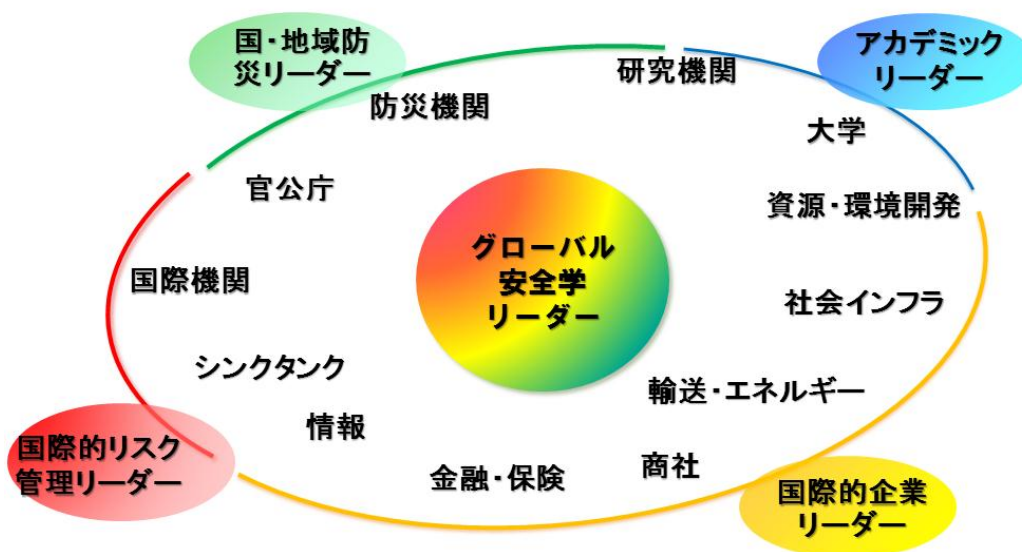


図2 修了後期待されるキャリアパス

I. 募集人員及び出願資格

I-1. リーディングプログラム院生の募集人員

リーディングプログラム院生（以下プログラム院生）は30名程度とする。

平成25年2月に実施するセレクションプログラム（100名募集）に参加し、願書を提出した学生に対して選抜を行い、4月以降のプログラム院生を30名程度選抜する。

I-2. 出願資格

- ・平成25年4月に表1の研究科・専攻の博士前期課程に入学予定の者。
- ・平成24年度に表1の研究科・専攻の博士前期課程1学年に在籍している者。

表1 グローバル安全学トップリーダー育成プログラムに参画している研究科・専攻

文学研究科	文化科学専攻、人間科学専攻
理学研究科	天文学専攻、地球物理学専攻、地学専攻
工学研究科	機械システムデザイン工学専攻、ナノメカニクス専攻、航空宇宙工学専攻、量子エネルギー工学専攻、電気エネルギーシステム専攻、化学工学専攻、土木工学専攻、都市・建築学専攻、技術社会システム専攻、バイオロボティクス専攻
情報科学研究科	応用情報科学専攻
環境科学研究科	環境科学専攻
医工学研究科	医工学専攻

II. セレクションプログラム参加者の募集

II-1. 申請書類

セレクションプログラム参加申請書を本プログラムのホームページより入手すること。

URL <http://www.g-safety.tohoku.ac.jp>

Ⅱ－２．申請手続

東北大学グローバル安全学教育研究センター事務室に、受付期限までにメール添付ファイルにて提出すること。

受付メールアドレス： gs-kyom@bureau.tohoku.ac.jp

受付期限： 平成25年1月13日（日）としますが、事情により遅れる場合は、
平成25年1月15日（火）17時まで受け付けます。

Ⅱ－３．セレクションプログラムについて

プログラム院生の選考に先立ち、学生自らがグローバルビジョンを持ち、英語運用能力を高める機会を提供して、本プログラムにおいて育成を目指す人材や能力について、応募学生が理解する機会を設けることを目的として、以下のセレクションプログラムを行う。

期間： 平成25年2月13日（水）～平成25年2月14日（木）：
グローバルビジョンプログラム

平成25年2月20日（水）～平成25年2月22日（金）：
英語コミュニケーションスキル研修

場所： 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6

東北大学工学部・工学研究科講義室

※受付時間及び場所については、申請者を対象に別途通知する。

Ⅲ．リーディングプログラム院生の募集

Ⅲ－１．出願書類

以下の（１）～（３）を本プログラムのホームページより入手すること。

- （１）出願書類 1式
- （２）募集要項 1部
- （３）履修要項 1部

URL <http://www.g-safety.tohoku.ac.jp>

配布期間：平成25年2月1日～2月18日

Ⅲ－２．出願手続

東北大学グローバル安全学教育研究センター事務室に、願書一式を調べて受付期間内に提出すること。

受付場所： 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6－6
東北大学工学研究科中央棟 3階 教務課内
東北大学グローバル安全学教育研究センター 事務室
受付期間： 平成 25 年 2 月 13 日（水）～ 2 月 20 日（水） 9 時～ 17 時
※郵送の場合も、2 月 20 日（水）必着とする。

出願者に対しては、後日メールにて受験番号を通知する。

Ⅲ－３．プログラム院生の選抜方法

出願者が提出する出願理由書及び願書・大学院入学試験の成績による書類審査、ならびに面接審査を行って選抜する。

※面接審査の詳細は、平成 25 年 2 月 13 日（水）から実施するセレクションプログラムにおいて通知し、面接は 3 月 1 日（金）に行う。

Ⅲ－４．プログラム院生の合格発表

平成 25 年 3 月 11 日（月） 15 時頃にグローバル安全学トップリーダー育成プログラムのホームページ上で発表する。

URL <http://www.g-safety.tohoku.ac.jp>

Ⅳ．キックオフシンポジウム

プログラム院生として選抜された学生は、以下の日程で開催されるキックオフシンポジウムに参加すること。

期間： 平成 25 年 3 月 16 日（土）～平成 25 年 3 月 17 日（日）
（1 泊 2 日で被災地巡検を含む）

※集合時間及び場所については、別途通知する。

V. 奨励金の支給

国内外の優秀な学生を獲得し、主体的に独創的な研究を計画・実践させ、グローバルに活躍するリーダーを養成するため、新たな学位を授与するプログラムに選抜された優秀な博士課程学生への支援経費として奨励金を支給する。

支給金額については、選抜審査の成績等に基づき決定し、以後、毎年審査により支給金額を決定する。

VI. プログラム院生決定までの流れ

上記の手順を図示すると以下のとおりである。

